

はじめての雪山講習会 ～大日岳～ H30.2/3～2/4

教育遭対部主催の「はじめての雪山講習会」では実技訓練として、2月3日から4日にかけて岐阜県の大日岳に行ってきました。コーチ・スタッフ・受講生合わせて総勢33名です。2月3日、曇のち雪。我々は、高鷲スノーパーク駐車場よりゴンドラに乗り9時に山頂駅に到着。そこから登山道へと入り、つぼ足歩行、ラッセル訓練、雪庇の観察などを行いながら大日岳に向かいました。途中、ルートに目印の旗を立てながら進み、休憩も含め2時間後の12時に山頂に到着。山頂では翌日の下山時に備え、コンパスを用いて方角・ルートの再確認を行いました。その後、各班に分かれて雪洞の作成へ。いくつかの班では、冰雪層に当たってしまい作成に難渋。雪洞作成中には少し晴れ間が出て、綺麗な青空の下に白山方面が見渡せました。雪洞完成後、斜面にて雪庇観察と滑落停止訓練を実施。みんな次々に落ちて止まって、、、。夕飯前にはシャベルコンプレッションテストでの弱層テストの実際を見学。この頃より寒くなり、氷点下12℃近くまで気温が下がりました。私は今回、雪洞が初めてだったのでドキドキわくわくの中、夕食・就寝です。やはりテントよりかなり暖かくて静か!!!驚きでした。

翌朝、起きると雪洞の入口に約10cm程度の新雪が積もっており風も強いです。雪洞の中にいたら、外の状況が分かりにくい事も学びました。2日目は当初より懸念されていた天候悪化があり、コーチ・スタッフの方々の指示を仰ぎながら訓練を実施。パーティに低体温症に人が生じた時の対応の仕方を実際に体験しました。7:30頃に頂上から撤退開始。吹雪とホワ



歳森 雪洞構築中です

イトアウトの中、進みます。前の人に離れないように慎重に歩行します。1600m付近にてG班はアイゼン歩行、滑落停止、ラッセル、耐風姿勢の訓練を実施。A班は確保技術を中心に訓練されていました。11:30頃、山頂駅に到着しゴンドラで下山。その後、牧歌の湯にて温泉に入りリフレッシュ。解散式を経て、帰阪しました。とても学びの多い2日間でした。コーチ、スタッフの皆さん、受講生の皆さん、ありがとうございました。

(受講生 ももんが山岳会 歳森 千明)